

2021年 春闘 定昇のみ

3回の団交を行いました 集約の方向とします

破天荒

教宣部

5096号

2021年
3月25日化学一般京滋地本
全竹中労働組合

昨日(24日)、春闘3次の団体交渉を行いました。だが、定昇のみの回答が続き、もうこれ以上の交渉は意味がないと判断。集約方向としました。

春闘

今回の春闘要求は、例年一万円前後を要求してきましたが私たちの最低要求として千円を提示。しかし回答は20年間もベースアップなしの定期昇給(係長以下の従業員1・2%増)のみでした。

へ会社

新型コロナウイルスの影響で売上・経常利益は大幅な減少となったが何とか黒字は確保でき回答。

各社揃って安定した売上・利益の確保を複数年維持できたらベースアップが検討できるが現状はそのような状況ではない。

雇用の確保・賃金カーブの維持を優先的に考え業績の如何に係らず定昇を実施して賃下げしないという方針。

へ組合

20年前の同年齢の方と同じ給与であるのをおかしい。そ

の間に消費税の増税・物価上昇もあったのに…。

コロナ禍、売上の減少で社内の風潮は良くない。従業員モチベーションのアップの為にベースアップは必要。

同様の交渉を3回行いましたが、会社側の回答は「定昇のみ」の繰り返し、これ以上の交渉は無駄と判断。

せめて夏の一時金に春闘でベースアップ分を考慮して回答してほしいとの要請をして集約方向としました。

最賃要求

竹中では京都府の電気機械器具製造業の最賃(九三六円)をベースとし

九四〇円

甲種嘱託社員の最賃

月額 一四五、一一二円
日額 七、〇五〇円
時間額 九四〇円

